

第125回日本外科学会定期学術集会

The 125th Annual Congress of Japan Surgical Society

シャトルバス広告募集のご案内

会 期: 2025年4月10日(木)~12日(土)

会 場: 仙台国際センター・川内萩ホール

仙台国際ホテル・ウェスティンホテル仙台

一般社団法人日本外科学会

理事長 武富 紹信

(北海道大学大学院消化器外科学 教授)

第125回日本外科学会定期学術集会

会頭 海野 倫明

(東北大学大学院 消化器外科学 教授)

ご挨拶

謹啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
平素は本学術集會に格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、第125回日本外科学会定期学術集會を2025年4月10日(木)～12日(土)に、宮城県仙台市で開催させていただくこととなりました。仙台の地で定期学術集會を開催するのは、2001年に第101回定期学術集會を開催された松野正紀先生以来、24年ぶりとなります。東北大学にとって大変名誉なことであり、本学会役員の方々をはじめ、すべての会員、関係者の皆様にご心より感謝申し上げます。

さて、外科を取り巻く環境はこれまで以上に厳しくなっております。私たちが日本外科学会に入会した1980年代は毎年1200名以上の外科専門医を育てておりましたが、その数は徐々に減少し、2024年の外科専門医プログラム希望者は約800名と、以前の約2/3になりました。2つの新設医大ができ医学部の定員が増加し、他のすべての専門医が増加している中、唯一、外科専門医のみが減少しているのが現状であります。また働き方改革が2024年に施行されることになりました。これにより外科医の労働環境は改善される予定ですが、逆に、これまで多くの時間外労働をしてきた外科医の給与が下がる、という側面もあり、外科にとってむしろ逆流になると思っています。

医学部生と話しますと、将来は外科医になって難病を治したい、というような高いモチベーションをもった学生は多数います。しかし、卒業が近づくにつれて徐々に外科離れをし、初期研修医時代には、どうしても楽な科を選ぶ傾向が強くなるように思います。振り返ってみますと、私たちが育った昭和から平成前半の時代は、「24時間働けますか？」という長時間勤務と、今ではパワハラ認定される厳しい指導が当たり前の「不適切にもほどがある」時代でした。それでも外科医を辞めなかったのは、手術が楽しい、患者さんに寄り添うのが楽しい、外科研究が楽しい、からだだったと思います。ですが、私たちはついつい、「いやあ、昨日の手術は大変だったよ」と苦労自慢をし、いつも眉間に皺を寄せ厳しい顔をしがちです。このような姿をみて医学生や初期臨床研修医は外科に行く道を断念しているのではないかと、思います。外科医を増やすことは喫緊の課題であり、さまざまな制度改革が必要であることは十分承知しておりますが、まずすぐに実行できることとして、外科医がいきいきと働き、笑顔を絶やさず、人生を謳歌することと思っています。本学術集會では多くのシンポジウムなどの主題演題に加えて、様々な特別企画を予定しております。その中でも目玉企画として、全国81大学の医学生を招待し、「外科の魅力を語ろう！」セッションに参加してもらうことを予定しています。多くの医学生・研修医が外科学の楽しさ、を実感していただければ幸いです。

仙台の地で日本外科学会定期学術集會を開催するのはほぼ4半世紀ぶりになります。仙台出身の漫画家で『ジョジョの奇妙な冒険』シリーズの作者である荒木飛呂彦氏にポスター制作を依頼したところ、快く引き受けていただきました。また第125回学術集會のテーマは、外科の面白さをストレートに伝えたく、「楽しい外科学—手術が楽しいッ！、臨床が楽しいッ！、研究が楽しいッ！」と、少し荒木節にさせていただきました。会場は、青葉山の麓にある仙台国際センターと東北大学萩ホール「青葉山地区」と、ウエスティンホテル仙台と仙台国際ホテルがある「東2番町地区」に分かれますが、バスなどを準備し、皆様の移動が不便にならないよう配慮いたします。仙台の地は『ジョジョの奇妙な冒険』の作中の舞台のモデルにもなった街です。皆様に仙台に来ていただき笑顔で過ごしていただけるよう、東北大学外科学教室をあげて準備いたしますので、ぜひ現地会場に来ていただきたく、医局員一同でお待ちしております。

学術集會では、会員による活発な討論を期待するとともに、企業の皆様との情報交換、交流の場を積極的に設けたいと存じております。つきましては、諸経費ご多難の折、誠に恐縮でございますが、本学術集會の趣旨をご理解頂き、是非ともご賛同を賜りたく存じます。本来ならば参上し、拝眉の上お願いすべきことではございますが、本書面を借りてご高配とご援助の程、衷心よりお願い申し上げます。末筆ながら、貴社のますますのご発展を祈念いたしております。

謹白

2024年11月吉日

一般社団法人日本外科学会
理事長 武富 紹信
(北海道大学大学院 消化器外科学 教授)

第125回日本外科学会定期学術集會
会頭 海野 倫明
(東北大学大学院 消化器外科学 教授)

I. 開催概要

- 会議名称：第125回日本外科学会定期学術集会
The 125th Annual Congress of Japan Surgical Society
- テーマ：楽しい外科学 ―手術が楽しいッ！、臨床が楽しいッ！、研究が楽しいッ！―
- 会期：2025年4月10日(木)～12日(土)の3日間
- 開催形式：ハイブリッド開催(参加者は現地参加+事後アーカイブ配信を予定)
- 会場：仙台国際センター、川内萩ホール、仙台国際ホテル、ウェスティンホテル仙台
- 会頭：海野 倫明(東北大学大学院 消化器外科学)
- 予定参加者数：約16,000名(現地参加:8,000-10,000名)
- 学術集会ホームページ：
<https://jp.jssoc.or.jp/jss125/>

II. 広告募集要項

- 掲載場所:「仙台駅」「仙台国際センター」「ウェスティンホテル仙台」を結ぶ循環バス
および 全員懇親会などに実施する臨時送迎バス
- 予定募集台数：12台
- 内容：シャトルバス内での資料配布(チラシ等の現物納品)
シャトルバス内でのPR映像配信(mp4データ納品 / 2分以下を目安)
- 運用方法:チラシ配布:前方座席のポケット
動画:バス備え付きのモニター
※お申込みをいただいた全ての企業様の広報物を、全車両に配布・放映いたします。
車両単位のお申込みではございませんので、ご了承ください。
- 申込締切：2025年1月17日(金)
- 申込方法：本募集要項の内容をご確認の上、「協賛申込フォーム」に必要事項をご記入ください。
- 掲載料のお支払い：申込締切後、請求書を発行致します。
- シャトルバス広告使用料金(全車両に配布・放映する料金です)

| | 料 金(税込) |
|-------|----------|
| チラシ配布 | 550,000円 |
| PR映像 | 660,000円 |

Ⅲ. その他

1. バスへのラッピングはございません。
2. シャトルバス内での配布資料・PR映像は事前に送付いたします。

Ⅳ. 申込方法

■ 申込方法

第125回日本外科学会定期学術集会ホームページ「企業の皆様へ」
または下図 QRコードの「協賛申込フォーム」よりお申込ください。



▼協賛申込フォーム

<https://forms.office.com/r/S03i4gXgr4>

Ⅴ. 透明性ガイドラインについて

■ 透明性ガイドラインについて

本学術集会は、日本製薬工業協会の「企業活動と医療機関等の関係の透明性ガイドライン」、及び日本医療機器連合会の「医療機器業界における医療機関等との透明性ガイドライン」に基づき、「貴社と医療機関及び医療関係者との関係の透明性に関する指針」に従って、貴社が本学術集会へ支払う寄付金、共催費等、貴社のウェブサイト等を通じて公開されることについて、承諾いたします。

■ お申込み・お問合せ先

第125回日本外科学会定期学術集会 スポンサー事務局
日本コンベンションサービス株式会社
〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-2 大同生命霞が関ビル14F
TEL:03-3508-1214 E-mail:125jss@convention.co.jp